

只見町を第二の故郷に

山村教育留学生在が農家民泊を体験

10月19～20日、只見高校の山村教育留学生(1年生)11人が農家民泊体験を行いました。今回は只見地区のお宅3軒にお世話になり、農家の皆さんの指導を受けながら、野菜の収穫や農地の後片づけなどを行いました。作業後には、餅やマトン焼き、新鮮な野菜を使った料理をいただいたり、民芸品の作り方を教わったりと、留学生たちは貴重な時間を過ごしました。

11月には、自主的に作業を手伝う留学生の姿も見られ、留学生と町民の皆さんが交流を深める機会となりました。



▲体験を行った留学生と受入農家の皆さん



▲6年生による見学交流会

各地の小中学生剣士集う

第5回

河井継之助杯只見剣道大会

10月20日、今年で5回目となる同剣道大会が町民体育館で開催され、町内外から64名・19チームの小中学生剣士が参加し、熱戦を展開しました。恒例の小学6年生による「河井継之助記念館」見学交流会も行われ、歴史を知り親睦を深める大会となりました。なお、優勝者は以下のとおりです。

個人	若葉(未防具)	共通	会津白虎剣士会	石幡大翔	団体	1部 (小5・6)	伊南武道館 A
	小4以下	男子	会津白虎剣士会	平野 昊			
		女子	会津白虎剣士会	鈴木美優			
	小5・6	男子	伊南武道館	藤小次郎		2部 (小4以下)	伊南武道館 A
女子		伊南武道館	羽染茉弥				

落語を通じ、多くの方々と交流

三遊亭鳳楽師匠の独演会を開催

10月26日、落語家・三遊亭鳳楽師匠の独演会が季の郷湯ら里で開催され、約100人の方が町内外から来場しました。同会は今年で14回目を数える毎年恒例の行事となっており、師匠自身も「只見町観光特別大使」として、様々な場所で本町のために活動いただいています。今回は落語2席(「鮑のし」、「夢金」)が演じられ、会場が大きな笑いに包まれました。

また、前日25日には、小川地区の65歳以上の方が集い活動する「小川いきいきサロン」内でも独演会(古典落語「町内の若い衆」)が行われ、地区の皆さんと交流を深められました。

併せて、両日に渡り東京から同行された清華香月さんによる日本舞踊で彩りが添えられました。



▲湯ら里で開催された独演会

皆で集まり楽しいひとときを 「お楽しみ昼食会」を開催

10月29日、只見町社会福祉協議会が主催する「お楽しみ昼食会」が季の郷湯ら里で開催され、町内から112人が参加しました。同会は、一人暮らしのお年寄り(70歳以上)を招待し、皆さんとの交流を楽しんでもらうことを目的に、毎年開催されています(今回は民生児童委員協議会が共催)。

当日は、アトラクションとして民生児童委員協議会の方々ที่踊りなどを披露した他、明和保育所の園児も参加し、会場を盛り上げました。



▲会場を盛り上げる明和保育所園児

練習の成果を町民に披露

只見町の小・中学生による音楽祭を開催



▲全校生徒(只見中学校)の合唱

11月7日、「第57回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で開催され、集まった保護者や地域の方々など多くの人たちが会場を訪れました。

会場では、各小学校の児童による合唱や合奏、続いて只見中学校の特設合唱部と全校生徒による合唱が披露されました。

最後に、小・中学生と来場した皆さんで「ビリーブ」の合唱を行い、会場には美しい歌声が響き渡り、大きな一体感に包まれました。

寒くなってもみんなで元気に！ かるがもクラブ運動会

11月9日、只見振興センターで「かるがもクラブ運動会」が開催され、町内の未就学児とその保護者、民生児童委員の皆さんなどが参加しました。

かるがもクラブは、親子と地域の交流の場として定期的に開催されており、民生児童委員の方々にサポートしてもらいながら、様々な行事やイベントを行っています。

当日は「障害物レース」や「風船ころがし」などが行われ、子どもたちは元気いっぱい体を動かしました。今回はお父さんの参加も多く、普段よりもゆっくり子どもとふれあい、楽しく過ごすことができたようでした。



▲風船を追いかける子どもと民生児童委員

只見町×RIZAP(ライザップ)

「イイからだづくりプログラム」で健康増進!

11月11日より、只見町とRIZAP(ライザップ)が連携する健康増進事業「イイからだづくりプログラム」が今年度も始まり、町内から20人の皆さんが参加しています。同事業は「3ヵ月でカラダを変える」をテーマに、町の健康課題である「肥満」「糖尿病」の予防や改善のため、昨年度から行われているものです。

新たな参加者として初回を迎えた皆さんは、体重・血圧等を測定して3ヵ月後の目標を決め、グループに分かれて低糖質の食生活や運動に関する講義を受けた後、筋力・柔軟トレーニングを行いました。

プログラムは全8回、2月上旬まで続く予定です。



▲食生活に関する指導を行うライザップトレーナー(保健福祉センター)

第31回「ふくしま駅伝」

只見町チームの選手たちが力走



▲選手の皆さん、チームをサポートした関係者の皆さん(ゴール場所の福島県庁前にて)

11月17日、第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が開催され、只見町チームが全16区間(94.8km)を駆け抜けました。

大会5日前(12日)の結団式及び壮行会でそれぞれの目標を掲げた選手たちは、全員が素晴らしい走りを見せ、6時間13分21秒「総合51位、町の部28位」という成績を収めました。

今回も中学生を中心に若い選手たちのエントリーが多く、選手をはじめとするたくさんの方々、レースを通じ貴重な経験を得ることができました。



▲結団式及び壮行会で1人ずつ挨拶する選手たち

●只見町チーム選手一覧

1区	鈴木 来菜(只見中)
2区	菅家 尚真(田村高)
3区	鈴木 詠大(只見中)
4区	梁取 水咲(南会津広域消防)
5区	菅野 慧汰(只見中)
6区	馬場那央也(作新学院大)
7区	横山 皓大(只見中)
8区	酒井 駿(只見中)
9区	三瓶心乃花(只見中)
10区	矢沢 裕也(役場)
11区	目黒 楓華(只見高)
12区	大竹 力(南会津高)
13区	目黒 元基(只見中)
14区	山内 太喜(只見中)
15区	三瓶 楓(只見中)
16区	山田 亮(只見小教員)

只見の絶品「新そば」を堪能

町内各地でそばまつりを開催

11月9日に「只見新そばまつり」が季の郷湯ら里で、23日に「朝日そばまつり」が朝日振興センターで開催され、町内外から参加した皆さんが只見の新そばを堪能しました。

前者は広く町内外の方を、後者は町民の方を主な対象に「只見のそば」の魅力を伝えることを目的に行われており、今年も年配の方から子どもたちまで多くの方々が参加しました。



▲いわき市からお越しの皆さん（9日）



▲そばを味わいながら談笑する町民の皆さん（23日）

子どもたちの踊りや演技に夢中

町内3地区の保育所でおゆうぎ会

11月下旬、3地区の保育所でおゆうぎ会が行われ、保護者や地域住民など多くの方々が参観に訪れました。園児たちはこの日のために練習してきた「劇」や「ゆうぎ」などを全力で披露し、可愛らしく一生懸命な姿に、大きな拍手が何度も送られていました。（※朝日保育所の写真は表紙に掲載）



▲【21日 明和保育所】「こびとのくつや」（劇）



▲【22日 只見保育所】「U.S.A」（ゆうぎ）

食生活改善推進員の皆さんが

いい夫婦の日に「婚礼膳」を再現

11月22日、奥会津五町村活性化協議会が主催する「伝統食の婚礼膳」体験イベントが叶津番所で行われました。同事業は、魅力的な地域文化の発信を目的に実施されたもので、大正7年頃に食されていたとされる「只見の婚礼膳」を只見町食生活改善推進員の皆さんが再現しました。

当日は「いい夫婦の日」ということもあり、マスコミ関係者らに加えて町内外から2組の夫婦をご招待し、婚礼膳を味わってもらうとともに、只見古来の食文化や当時のならわしなどについて紹介をしました。



◀再現した婚礼膳。明治時代に使われていた器（町教委保管）を使用



▲婚礼膳の盛り付けなどを行う推進員の皆さん